矢島基臣名誉教授著作目録

著作と論文

1. 経営経済的会計理論への一視角，商学論集第21巻1号，昭和27年5月
2. 経営経済に於ける固定原価の問題
   ——シュマーレンバッハの「自由経済論」を中心として——，商学論集第21巻4号，昭和28年2月
3. 分権的経営管理と限界原価
   ——シュマーレンバッハに関する一研究——，商学論集第23巻2号，昭和29年7月
4. 経営財務の基礎的一研究，商学論集第23巻6号，昭和30年3月
5. 適正なる適用数字とは何か
   ——シュマーレンバッハを中心として——，会計，昭和30年3月
6. 企業自己管理と自己保険基金——フェールマンの所説を中心として——，PR 第6巻7号，昭和30年7月
7. 経営的価値の性格変化，商学論集第24巻2号，昭和32年6月
8. 計算価格論の展開——資本予算と評価論との関連——，商学論集第26巻1号
9. 経営管理と計算価格の役割——管理的会計の基礎的一研究——，商学論集第27巻3号，昭和33年12月
10. 『管理価格論の展開』——管理的会計の基礎的一研究——，森山書店刊，昭和36年8月
11. 事業部制における長期経営計画，中村常次郎編，『事業部制』所収，春秋社刊，昭和41年11月
12. 価格政策——価格政策と品質競争，差別価格，差別価格と管理価格，藻利重隆編，『経営学辞典』所収，東洋経済新報社刊，昭和42年11月
13. 計算価格に関する一研究，会計，第92巻6号，昭和42年12月
14. 現金割引法による財務問題の分析，会計，第95巻5号，昭和44年5月
15. 『管理価格論の展開』(改訂版)，森山書店刊，昭和45年3月
16. グーテンベルクの「財務論」に対する一考察，会計，第98巻4号，昭和45年10月
17. 経営の価格政策と消費者運動，ビジネスレビュー，19巻2号，昭和46年9月
18. 利益計画に関する基礎的一研究，会計，第102巻4号，昭和47年10月

19. 企業経営からみたソーシャル・コストの役割，産業経理，33巻1号，昭和48年1月
20. 財務流動性に関する経営的考察——流動性と収益性に関する経営的考察——，一橋論叢，第69巻2号，昭和48年2月
21. 投資計画のアプレイザル・システムに対する経営的考察，会計，第104巻1号，昭和48年7月
22. 経営財務論における現在価値計算の役割——シュマーレンバッハの財務論を中心として——，中村常次郎先生還暦記念論文集，『現代経営学の課題』所収，有斐閣刊，昭和49年3月
23. 費用計算の角度からみた合理化の問題点，会計，第109巻4号，昭和51年4月
24. 社会的角度からみた財務問題の分析，ビジネスレビュー，24巻2号，昭和51年9月
25. 経営価値計算の発展方向とその課題
——経営価値計算の再吟味——，一橋論叢，第79巻5号，昭和53年2月
26. 経営費用論の課題とシュマーレンバッハの費用論，会計，第114巻4号，昭和53年10月
27. 経営価値計算の現代的役割——経営価値による投資管理を中心として——，岡村正人教授還暦記念論文集『現代経営と株式会社』所収，有斐閣刊，昭和53年11月
28. シュマーレンバッハの理論，中村常次郎，鈴木英寿，小島三郎編，『現代ドイツ経営学説』，所収，同文館刊，昭和55年3月
29. 費用・収益対応の観点からみた価格形成の問題，会計，第118巻1号，昭和55年7月
30. 財務的制約の本質に関する一研究，会計，第124巻4号，昭和58年10月
31. 財務論における収益拒否率の役割，会計，第126巻2号，昭和59年8月
32. 商品取引の合理化と西ドイツにおける有標品の役割，一橋大学東京繊維商品取引所運営委員会編，昭和61年9月
33. いわゆるシステム商品の誕生と企業経営における商品開発の方向，同上委員会編，昭和61年9月
34. シュマーレンバッハの理論における経営価値計算の役割——費用の論理とその展開——，一橋論叢，第96巻4号，昭和61年10月
35. 『現代の経営思想』，矢島編，春秋社刊，昭和62年10月